

■ つなげよう 仲間と地域を（新堂中学校）

1 【活動の趣旨】

「地域とつながるよさ」を実践する活動をめざして新堂中 ESD の活動を中心に進めている。また、中学校としての情報発信として、校区内小学校のふれあいまつりでブース出展して活動の発信や、職業体験等でお世話になった地域の公共施設・商業施設の方々との交流【ESD 全校集会への招待等】を行っている。

2 【特徴的な活動内容】

- 『道の駅くさつ』での開発商品販売・啓発活動
【琵琶湖ふりかけと湖魚佃煮の販売】
- 滋賀県農政課・志那中環境を守る会・志那漁協
JA レーク滋賀等との Collaboration
- 世界湖沼会議に参加し、取組動画作成・発信
- イナズマロックフェス参加・ステージ発信
- キャリア教育推進事業推進校の高校生を講師として招聘・交流



【琵琶湖のエリ漁の下見】

3 【実施に当たっての工夫】

- 週 1 回の ESD 担当者会を開催し、各学年の活動状況を共有・協議した。
さらに、職員会議での活動報告により全職員に周知することで、学校全体でスムーズに探究活動が進められ、新堂中学校 ESD の活動の理解者となり活動の推進力となった。
- 常盤学区・笠縫東学区両ふれあいまつりへの出展及びボランティア参加
- ESD 全校集会の開催【各学年：新堂中 ESD 実行委員会主催】
 - * 1 年生：校区の世界農業遺産フィールドワーク・琵琶湖システムの魅力発信
 - * 2 年生：地域の伝統文化調査・職場体験学習・地域 poster session 開催
 - * 3 年生：SDGs の観点から自分達のまちづくりを発信 修学旅行発表会等

4 【事業の成果】

- 3 年間を見据えた大テーマ『地域を知る・地域に学ぶ・地域を考える』を目標としての活動の一区切りができた。また新堂中 ESD の活動とも相まって、地域から滋賀県へまたグローバルな活動になりつつある。また新堂中 ESD の探究活動を通して、地域の様々な人とつながり校区の魅力が再発見し、広く発信することができた。
- ESD 生徒実行委員会が中心となり、探究活動を企画運営することで、自主性やリーダーシップが発揮された。



【ゆりかご水田での活動】

5 【事業の今後の展望】

今後も『地域を知る・地域に学ぶ・地域を考える』を目標としての活動を行う。また新堂中 ESD の活動とも相まって、郷土愛をはぐくみ、地域から滋賀県へまたグローバルな活動を推進していく。

また、地域を支える一員として、郷土愛をはぐくみ郷土の発展に寄与できる『人材育成』の視点に立った活動を積極的に進めていきたいと考える。